

# 令和6年度 まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事録

開催日時	令和6年8月23日（金）	13時30分～14時30分
開催場所	半田市役所 庁議室	
会議次第	<b>【議題】</b> <b>基本目標1「産業を振興し安定して働く場のある『まち』をつくる」</b> ①所管課長説明 ②質疑 ③評価	
出席委員	（委員長）鈴木委員長 （委員）亀山委員、福井委員、河治委員、遠藤委員、沢田委員、山本委員 （欠席）林委員、福田委員	
事務局	企画課長、企画課（内田・中村）	
出席職員	産業課長、市街地整備課長	
<b>議事概要</b>		
①所管課説明	資料及び事前質問回答に基づき、説明（産業課長）	
②質疑	<b>【委員】</b> 企業誘致の推進に関連して、石塚地区工業団地整備事業の令和5年度の決算額が0円、中億田地区工業用地整備事業の令和6年度の予算額が0円とそれぞれなっているのはなぜか。 <b>【産業課長】</b> 石塚地区工業団地整備事業について、事業の実施主体は愛知県企業庁であり、地元との交渉等の企業誘致に関する業務を本市が担っている。当初の事業計画では、令和5年度の県の用地造成事業審査会の承認を得る予定としていたが、設計図面の変更があり、また、地権者の同意を数件得られていなかったため、審査会にかけることができず、周知等に係る予算の執行ができなかった。 また、中億田地区工業用地整備事業は民間主導の開発であるため、地権者との交渉は進出する企業が直接行うことになる。本市の役割としては、工業用地としてのインフラ整備を企業の進出状況に合わせて行うものであり、現状では企業の進出が確定しておらず、検討段階であるため、令和6年度の予算額を0円としている。 <b>【委員】</b> KPI「起業・会社設立支援補助金利用件数」について、令和3年度の4件の起業は、市内・市外いずれの在住者による補助金の利用であるか。 <b>【産業課長】</b> 4件すべて市内在住者による起業である。この補助制度は、法人登記に係る経費等に対して補助するものであるが、最近ではオンラインでの登記等が可能であり、経費も安価になってきているため、補助申請の件数が少ない状況にある。 <b>【委員】</b> 亀崎地区では空き家を活用した店舗等の展開も見られるが、これは市主導の取組であったのか。	

**【産業課長】**

本市の建築課が空き家をリノベーションして活用を促す取組を行っており、これをきっかけとして地元住民が空き家の活用や店舗等の管理、運営を行っている。この取組は、地元大学の建築系の学部や学生と連携してリノベーション手法の検討等を進めたものであり、飲食店等の創出のほか、亀崎地区の景観の保全にもつながった。

**【委員】**

対象の飲食店では若い世代の利用者も多く見受けられる。今後、中心市街地活性化において、空き家の活用等を進める際の参考としてほしい。

**【委員】**

J R武豊線の高架化事業について、高架下空間はどのような活用が見込まれるか。

**【産業課長】**

高架化する鉄道線路は全長 2.6km と長い。J R半田駅周辺の高架下空間は活用の目途が立てやすいが、一方で、駅から離れた場所は、周辺が住宅地であり、店舗等の進出が見込めない場合は、駐車場として高架下空間を活用することも想定される。

高架下空間の活用は、現在取り組んでいる中心市街地活性化と一体的に検討を進めていく必要がある。

中心市街地活性化については、全国の事例をみると、行政主導で進めて成功している事例はない。地域住民による民間主導での取組が不可欠である。

今回の中心市街地活性化の対象範囲は、J R半田駅から半田運河までである。この対象範囲内の各エリアにおける活性化を目的として、令和5年度に民間からまちづくり会社が2団体発足した。このうち1団体は観光協会が運営するものであり、空き家所有者と活用希望者とのマッチングを仲介する取組等を行っていく。また、名鉄知多半田駅周辺は、現状としてコインパーキング等の低未利用地が多い。これらの土地について、収益性向上と賑わいづくりの両方につながるような土地利用として、例えば店舗としての活用等に移行できるよう、まちづくり会社から民間への投げかけを進めていきたい。

**【委員】**

J R武豊線の高架化は、市内の渋滞緩和も目的のひとつであると思われる。名鉄の線路も高架化すれば、さらに渋滞緩和につながると考えられる。鉄道事業者である名鉄に対して、高架化に向けた協議や要望等を行っているか。

**【産業課長】**

市内交通がJ Rと名鉄の両線路によって分断されている現状は認識しているが、予算や線路周辺の建物の密集度等を考慮して、まずはJ Rの線路の高架化を行うこととした。現段階では、高架化されていない名鉄半田口駅や住吉町駅周辺の線路について、高架化に向けた要望や協議は行っていない。

**【市街地整備課長】**

今後、名鉄の線路を高架化していくか否かの検討を進める場合には、まずは全体の費用感をつかむ必要がある。そのため、高架化に係る経費

の概算を算出するための業務委託を令和6年度に実施中である。

**【委員】**

地元住民の中でも高架化を望む方は多いように思う。

**【市街地整備課長】**

J R 沿線に比べて名鉄沿線は住宅等の建物の密集度が高く、移転費用等、多額の経費が発生すると思われる。市の長期的な財政にも関わるため、どこまで投資できるかよく検証する必要がある。

**【委員】**

高架化でなくトンネルによる地下への鉄道敷設（地下鉄）というのはいかがでしょうか。

**【市街地整備課長】**

経費を算出したことはないが、一般的には高架化よりもさらに経費が多額になると考えられる。

**【委員】**

KPI の達成度も高く、産業振興と働く場をつくるという基本目標の達成に向けて様々な取組を前向きに進められているように見える。

**【産業課長】**

委員の認識のとおり、産業振興につながる取組を幅広く進められている。自動車関連を始めとして円安等の影響により好調な産業もあるが、経済環境や社会情勢は常に変化するため見通せないことも多い。そうした前提をふまえながら、次の一手となる取組を絶えず検討していきたい。

前向き・主体的に取り組めた一例としては、渋滞緩和と関連して、通勤時間帯に日常的に渋滞が発生している港湾道路に右折レーンを設置する工事を行っている。これは、愛知県の管轄の道路であったが、渋滞緩和につなげるため、市の財政負担により工事を速やかに行うこととした。

**【委員】**

右折レーンの設置により、その路線の渋滞は解消されるか。

**【産業課長】**

右折レーンが設置されたことによる一定の効果は見込まれるが、その路線の先での渋滞しやすい場所や信号機の状況等、様々な要因によって渋滞は発生するため右折レーンの設置ですべてが解決するとは言えない。信号機の赤信号の長さについて、警察と協議しながら検証を進め、渋滞緩和につなげていきたい。

**【委員】**

目標数値「農業産出額」について、令和5年度の実績値（827 千万円）が前年度（777 千万円）から大幅に伸びているが、その要因は何か。

**【産業課長】**

本市の農業産出額は8割以上を畜産が占めており、令和5年度の農業産出額の増加は、出荷頭数の増加ではなく、物価高騰による単価上昇を要因とするところが大きい。

**【委員】**

農業分野でECサイトを活用した販路拡大の支援を行うとあるが、具体的にどのような取組を行うのか。

**【産業課長】**

農家がECサイトで農産物を販売できるようにするためのプラットフォームを提供している。農家同士の情報共有の場を設けるとともに、ECサイト上で選ばれる商品写真の撮り方やPR文の書き方等のセミナーを開催した。また、令和6年度にはECサイトの送料を本市が負担するキャンペーンを行うことにより、農家のECサイト活用を支援していく。

これらの農家支援の本質的な目的は、主体的に農業経営を考えて実行できる農家の育成である。自主的な販路の拡大や営業活動、経営の安定性を考慮した販路選択等について考えながら農業経営を進められる農家の育成を目指している。

**【委員】**

ECサイトはどのような形態で提供するのか。

**【産業課長】**

農産物に特化した産直ECサイトの事業者と本市が契約し、市内の農家が出品できる環境を整えている。経営判断としてECサイトを活用するかどうか選択するというのも、農家が自身の農業経営を考える1つのきっかけなると考えている。

**【委員】**

知多牛をより魅力的なブランドにしていけるとよい。現状、情報番組「めざましテレビ」のめざましじゃんけんコーナーへの出品以外にはあまり露出する取組や消費者への接点が見られない。そうした知多牛ブランドの露出やプロモーション、消費者との接点の創出に取り組んでほしい。

**【産業課長】**

めざましじゃんけんコーナーへの出品について、現在は酪農組合が牛肉を用意して出品している。本市では、知多牛の特設Webページの作成や市内で知多牛を食べられる飲食店を紹介するパンフレットの作成等を行っている。民間企業の事例等も参考にしながら、知多牛のPR、地場産業の振興に努めていきたい。

**【委員】**

中心市街地活性化に関連して、子育て中の母親を対象とした取組は何を行ったのか。

**【産業課長】**

中心市街地活性化の事業では、創業支援と併せて、学生や事業者等の新たなネットワークの構築を目指している。様々な取組を進めるにあたり、子育て世帯の考えを広くうかがいたいとの思いがあり、子育て中でも参加しやすい時間帯を設定してワークショップを開催した。最近では、ワークショップの参加者の発案により、子育てに特化した中心市街地に関するワークショップが独自に開催されるなどの広がりをみせている。

	<p><b>【委員】</b> 新規就農に向けた取組や状況について、前年度からの変化はあるか。</p> <p><b>【産業課長】</b> 6次産業化プロジェクトリーダーを中心として、農家との交流会や農業マルシェ、農家主体の地域プラットフォームの構築等を進めており、特に若い世代の農家の方たちには、他の自治体にはない魅力的な取組として評価いただけている。直接的、短期的に新規就農につながるわけではないが、新たな取組によりこのような変化は起きている。</p> <p><b>【委員】</b> 市内高校の生徒の地元就職の最近の動向について知りたい。</p> <p><b>【産業課長】</b> 市内高校の生徒について、コロナがあったとはいえ名古屋市への就職が多いという傾向からの変化はあまり見られない。 これまでも商工会議所の主催で就職説明会を開催していたが、高校生は授業のため参加できないという状況にあった。そこで、令和6年度には複数の地元企業が高校に出向いて企業説明会を行う企画も実施した。</p>
③評価	<p><b>【委員】</b> A評価。 KPIの達成度も含めて概ね順調に取組が進められている。</p> <p><b>【委員】</b> A評価。 着実に取組を進められている。</p> <p><b>【委員】</b> A評価。 目標数値の達成度もAAが2つあり、順調に推移している。</p> <p><b>【委員】</b> A評価。 様々な分野で取組を進められており、それが民間主体での取組にも発展していることは評価できる。</p> <p><b>【委員】</b> B評価。 KPIの達成度は目標値の設定の高さに左右されるところも大きい。企業誘致や工業団地の整備の進捗が遅れ気味である。</p> <p><b>【委員】</b> A評価。 KPIの達成度は概ね良好である。製造業の従業者数や有効求人倍率を向</p>



上させるという観点から、はんだオープンファクトリーの実施等、課題に沿った取組が行えている。

**【委員】**

A評価。

KPI の達成度が順調であることや、農業者支援の取組等の新たな取組が実施できている。

全体としての評価は、A評価。